

月例研修会レポ
日本最古の官道・横大路

青木 幸子

6月8日(火)「日本最古の官道・横大路を歩く」を楽しむ



子ツバメの合唱
(高田市駅近くで)



に、近鉄高田市駅に集合。参加者19名。梅雨の中休みでいきなりの真夏日となる。日中は30℃を越えるとか、まだ体が慣れてないので心配になる。

9:40に出発し、まずは近くの龍王宮へ。ここは第三代安寧天皇の片塩浮孔宮跡と伝承されている。夾竹桃が満開。次の長谷本寺までの通り道に、歌手の福山雅治が結婚式を挙げたという、豪華な邸宅レストランがあった。



長谷本寺へ。ご本尊の十一面観音菩薩像は、桜井市の長谷寺本尊と同木で刻まれたという。この木は滋賀県高島郡に生えていた楠が洪水で流され、各地で不思議な事を起こしながら、この寺の前まで来たところで動かなくなったので、高僧によって刻まれ、残りは長谷寺の本尊として祀られた、との伝承がある。中に入り自由に拝観できる。



桜井市の長谷寺本尊と同木で刻まれたという。この木は滋賀県高島郡に生えていた楠が洪水で流

専立寺・寺内町へ。慶長五年(1600年)に創建された専立寺を中心に寺内町が発展し、高いのまちの礎が築かれ



たという。往時を偲ばせる豪華な彫刻の表門、かつては壮大な本堂があったが、火災により焼失したとのこと。門、太鼓楼、築地塀は大和高田市の文化財に指定されている。江戸・明治・大正・昭和の町並みが見られる歴史地区。

不動院(大日堂)へ。大和高田さざんかホルのすぐ横にあり、聖徳太子の創建といわれ、国の重要文化財に指定されている。ちょうどアジサイが満開。花の色の違いはなぜ?諸説紛々。

しばらく歩く。徐々に気温が上が
り汗ばんでくる。この時期のマスク
は辛い。水分補給がかかせない。昔の人はこんな暑さを経験してないだろうなあ〜。



太神宮の高灯籠。往時、旅の道しるべとして明かりが灯され、伊勢神宮をめがす「おかげ参り」は大群衆となってこの前を通ったという。



横大路をひたすら歩いて、やっ

と昼食場所の公園にたどり着く。一面の緑に目も癒され、ホッとする。木陰にシートを敷いてお弁当タイム。密を避け、約40分の休憩の後、午後の行程へ出発。「これからはひたすら歩きやで〜」と世話人。さらに気温は上がる。暑い中、約一時間ひたすら歩き、入鹿神社へ。



明治時代、逆臣である蘇我入鹿を神として祀るのは都合が悪いと、社名を改めるよう政府から言われたが、地元住民は拒んだという。今も地元の人々から崇敬を集めている。スマホをかざしてQRコードを読み取り、案内を聴くという今様の仕組み。しばし長椅子で休憩する。



ここから最後の踏ん張り。おかげ参りの旅人をひととき癒す接待場を過ぎて、やっ

と八木の札の辻に到着したが、なんとコロナの影響で「6月1日から当面の間休館します」との貼り紙が。皆さま、お疲れさまでした〜。